

2020年4月23日

お客様各位:



私たちは、エンタープライズ部門に最適なビデオファーストのコミュニケーションプラットフォームを構築するために、約10年前にZoomを設立しました。現在、ユーザーベースはかなり多様化しており、学校（25か国で10万）、大学（米国内の多くの主要機関）、政府（アメリカ合衆国政府、英国議会、および世界中の他の多くの政府の主要な政治機能）、そして多くの「フォーチュン500」ランクイン企業への完全な展開を含め、あらゆる規模、産業、および地域（241カの国と地域中226カ所）の企業の皆様をサポートさせていただいています。2019年12月の時点で毎日1,000万人のミーティング参加者にご利用いただいていたましたが、2020年4月には1日あたり3億人以上に成長しています。私たちは、Zoomプラットフォームの急速な採用の増加のほか、全体的に強力なアップタイムでこの驚くべき成長をサポートする能力に誇りを持っています。

私たちは常にスピードとスケールを兼ね備えたイノベーションのリーダーであり、またプライバシーとセキュリティに関しても同様であることを約束しています。特定のセキュリティに関する懸念が過去数週間にわたって提起されたため、積極的かつ迅速に対処を行いました。Zoomは、パスワードや待機室の有効化など、ミーティングを保護するための適切な保護手段と組み合わせて使用することで、安全、安心のバーチャルミーティング環境を確実に提供しています。Zoomは、世界中の洗練された組織のユーザーにとって最適なプラットフォームであり、今後もそうあり続けます。添付のデータシートには、データの安全を維持するのに役立つ、新旧両方のセキュリティ機能に関する補足情報が含まれています。この情報を参照して、Zoomが安全であるという事実を知り、ご安心いただければ幸いです。

他にZoomについてご不明な点がございましたら、プラットフォームや会社のプライバシーとセキュリティについて話し合うために、お客様やお客様の顧客とのミーティングに参加させていただきます。Zoomは、業界で一番安全なビデオファーストコミュニケーションプラットフォームを開発し、大切なお客様に引き続き満足していただけるよう尽力しています。

Zoomチーム全体を代表して、皆様の信頼、サポート、パートナーシップに感謝申し上げます。私たちは、お客様とご家族、友人、そして同僚の健康を願うとともに、この世界的な健康危機を乗り越えるために私たちができることに取り組みます。

この手紙を従業員、管理チーム、取締役会、顧客、または適切と思われるその他の組織と自由に共有してください。

Eric S. Yuan
CEO兼創設者

Ryan Azus
最高収益責任者

Aparna Bawa
最高法務責任者

Nick Chong
グローバルサポートサービス

Richard Farley
CISO

Oded Gal
最高製品責任者

Brendan Ittelson
最高技術責任者

Harry Moseley
最高情報責任者

Lynne Oldham
最高人材活用責任者

Janine Pelosi
最高マーケティング責任者

Kelly Steckelberg
最高財務責任者

安全なミーティングのために重要なZoomの機能

Zoomは、ユーザーと管理者が使いやすい設定を介してセキュリティとエクスペリエンスをカスタマイズできる、安全でセキュリティ保護されたコミュニケーションプラットフォームの提供に取り組んでいます。当社は現在、非常に多くのさまざまなユースケースをサポートしていることを考慮して、製品とサービスの開発の継続にあたり、業界トップのセキュリティ専門家と顧客にアドバイスを求めています。最も注目すべきセキュリティ機能は次のとおりです。

- **転送中および保存中のデータの暗号化**は、現時点から5月30日にかけてAES 256 ECBからAES 256 GCMに移行中です
- 有料クライアントが任意のデータセンター（ホーム地域を除く）をオプトインまたはオプトアウトできるようにする**制御データルーティング**、およびエンタープライズクライアントが特定のミーティングの地理的地域をカスタマイズおよび管理する機能
- アカウント管理ダッシュボードを介した**データルーティングの透明性向上**
- **無許可の参加者を禁止**するための次のような保護手段と制御：
 - 11桁の固有ミーティングID
 - 複雑なパスワード
 - ドメインから参加者を自動で管理することができる待機室
 - ミーティング中に他のユーザーが参加できないようにするミーティングロック機能、および参加者を除外する機能
 - 登録済みユーザーのみに入室を許可するか、特定のメールドメインに制限する認証プロファイル
- **ミーティングホストの制御機能**を使用することで、参加者による次の操作を有効または無効にできます。
 - コンテンツ共有
 - チャット
 - 参加者の名前変更
- **ホスト/共同ホストのメインインターフェイスに専用のセキュリティアイコンを使用して、指先でセキュリティアイコンコントロールが可能**
- デフォルトで設定する複雑なパスワードにより、すべてのクラウド**録画を暗号化する**
- すべてのプラットフォームで**レート制限とreCAPTCHA**（人の介入が必要）を有効にして、ロボコールを防止する
- オーディオ録音は、ユーザーの電子フィンガープリントが**不可聴の透かし**として埋め込まれているため、録音が許可なく共有された場合、ソースの特定に役立つ
- **コンテンツの透かし**は、ミーティングの参加者のメールアドレスの画像をスクリーンショットの共有コンテンツに重ね合わせる

以下の業界およびセキュリティ組織の基準を満たしています。

- SOC 2 (Type II)
- FedRAMP（中）
- GDPR、CCPA、COPPA、FERPA、およびHIPAA準拠（BAA含む）
- プライバシーシールド認定（EU/US、スイス/US、データプライバシー慣行）
- TrustArc認定プライバシー慣行および声明

上記は当社のプラットフォームで利用できる主要な機能の一部であり、今後数週間にわたり新しいデフォルト設定とコントロールを設計するにつれて、さらに多くの機能が追加される予定です。これらの機能に加えて、サイバーセキュリティの専門家として広く尊敬されているAlex Stamos氏をアドバイザーとして迎えて、ZoomクライアントのCISO Councilとアドバイザリーボードを設立し、プライバシーとセキュリティに関する継続的な意見交換を進めています。毎週開催される「Ask Eric」ウェビナー(zoom.com/events)に登録したり、当社のブログ(blog.zoom.us)をお読みにたり、この重要エリアの最新の進行状況をご確認ください。Zoomのプライバシーとセキュリティポリシーの詳細については、[プライバシーとセキュリティ](#)ウェブページをご覧ください。

2020年4月23日